

第1学年通信

第12号

平成28年3月22日(火)

ホームページ <http://www.nc.isesaki-hs.gsn.ed.jp/>

◇2年生になる自覚を◇～社会に貢献できる人間になろう～

人には生きていくために必要最低限な欲求（一次的欲求または生理的欲求）と、自分自身の幸福や達成感を感じるための高度な欲求（二次的欲求または社会的欲求）という2段階の欲求があります。

簡単に言うと、同じ食欲でも、「お腹がすいたから何か食べ物を食べたい」という欲求は一次的欲求であり、「有名な一流レストランで素晴らしい料理を食べてみたい」という欲求は二次的欲求に分類されると思います。

これまでも様々な機会に話してきた「目標」づくりにおいて、「目標」を設定する際に絶対的に必要なことは「目的」です。「目的」とは、簡単に言えば「何のために」といった行動の理由と考えればよいのですが、なかなかそれが見つけられない人が多いように見受けられます。「あなたは何のために高校で勉強しますか？」という問いに対して、その答えを見つけるためには、自分なりに目的意識を持っていなくてはなりません。高校で習う学習内容は非常に幅が広く、確かに自分が将来就く職業の中で直接的に生かされていくかどうかはわかりませんが、さらに専門的で高度な知識を身につけるための準備段階として最低限必要な知識であることには間違いありません。

では、どうすれば「目的」を見つけられるのでしょうか。それには私達の持つ高度な欲求である「社会的欲求」や「自我欲求」というものについて知るべきだと思います。

たとえば、「美味しいものを食べたい」とか「高級車に乗りたい」といった単純な欲求もあります。それを実現するためにはある程度の経済力が必要であり、それを得るために仕事に就く必要性などが出てきます。最初はそのような単純な発想でも良いと思いますが、ここではもう少し深く「欲求」というものについてとらえてみましょう。「働く」＝「賃金報酬」と考えている人も多いかもかもしれませんが、実はそれ以外にも自分の人生を豊かにするための意味がたくさん含まれています。自分の仕事が社会のどんな場面でどんな人達の役に立っているのか、を知ることによって自分が社会に貢献できているという非常に大きな喜びを得ることができます。また自分自身が社会の中でどのような人間として認められているのか、あるいは必要とされているのか、という問いの答えから自分自身の存在意義を見出すことができます。

成功する多くの人々の原点には、「人の役に立ちたい」、「人の喜ぶ顔を見たい」、「社会に必要とされる人間になりたい」といった欲求が必ずあります。自分がどんなことで社会に貢献していきたいのか、あるいは自分が社会に必要とされる人間になるためにはどんな力や行動が必要なのかを考えてみてください。ものづくり・サービス業・農業・福祉・医療・研究・プロスポーツ選手、どんなジャンルでも構いません。あなたができそうなこと、あなたに合っていると思われること、あなたが好きなこと、あらゆる角度から自分を見つめてみましょう。自分にも高度な欲求があることにきっと気付くはずですよ。その欲求を満たすために、どのような進路を目指せばよいのかを考えれば、自分の「目標」とすべきことが少しずつ見えて来ると思います。その進路を実現するための「目標」を必ず設定して、この新学期、新たな行動の一步を踏み出してくれることを期待しています。2年後、伊勢崎高校を卒業する時には、どんなことで将来、社会に貢献していきたいかはっきり言える人間になって欲しいものです。

2学年に進級するにあたり、以下の言葉を贈ります。

「人間は努力する限り迷うものだ」

ドイツの偉大な詩人ゲーテの言葉です。皆さんには素晴らしい未来が待っていると思います。が、時には思い悩み、辛抱しなければならない時期もあるでしょう。悩み迷った時はこの言葉を思い出し、どのような困難に対しても真正面から正々堂々向かっていって下さい。

あつという間の1年間でした。“ドラえものの最終回”より、

『絶対に成し遂げるという気持ちでやれば必ず目標は達成する！』

この1年間で、君たちの優れているところ・・・①素直さ ②物事への取り組む姿勢 ③人としての優しさ・・・などを感じています。それらに関するエピソードはスペースの関係で紹介できませんが、学年全体がそんな雰囲気があるでしょう。この11期生の良いところを継続し、先輩として12期生に誇るべき態度を示して下さい。

2年生は中だるみの時期とよく言われます。スタートダッシュが肝心です。春休みは、次年度への準備期間です。規則正しく、有効な時間の使い方をして下さい。

『時間はあるものではなく、つくるもの！！』

～1年生ではできなかったことを、2年生ではやってみよう！～

当たり前のことを当たり前にできることは大事なことです。～凡時徹底～

高校生活は、社会人になるための準備期間だとお伝えしてきました。1年間で、子どもから大人への成長はありましたか？学習面での継続的な取り組みはもちろんですが、伊高生として、日本人としての良いところを思い出して下さい。すれ違う人への挨拶や、公共の場でのマナー、並んで待つことや、ごみをごみ箱に捨てること。飲食は座って落ち着いてすること。当たり前のことを当たり前にできることは大事なことです。(～凡時徹底～：横浜 DeNA Baystars の本年度のスローガン)ですが.....

道徳心や礼儀作法をきちんと身につけた先に、皆さんの希望進路は見えてきます。残り2年間しかない高校生活を実りあるものにしてください。

「一日も早く自覚して、学びの日々を過ごせるようにしてください。」

～少年老い易く 学成り難し～

「後でいいや」ではなく、「その日に終える」積極性

1年次の反省を自己分析し、2年次には同じ間違いを繰り返さないように心掛けて下さい。また、個人個人目標を持ち、それに向かっていく努力と、全てに対して積極性を持って生活して下さい。

1. 4月の予定 (主だったもの)

8日(金) 始業式・入学式	11日(月)対面式・学年集会・新入生歓迎会
12日(火) 第1回学力テスト・進路希望調査	13日(水)身体測定
14日(木) 二者面談週間[～20日(水)]・学習量調査[(~22(金))・部編成	
16日(土) 第1回スタディサポート(英・数・国)	28日(木)交通安全教室

保護者の皆様へ

早いもので1年生もいよいよあと2日で終了です。昨年4月8日のみぞれの日に入学してきた生徒達も、顔つきはすっかり高校生らしくなり頼もしく見えるようになり、担任団一同安心しております。

さて、この11期生は、①基本的生活習慣を身につける、②学習意欲を喚起し学習習慣を確立する、③進路に対する意識づけを図る、④帰属意識・規範意識を養う、という四本柱を学年統一目標として一年間を過ごして参りました。この一年間を振り返ると、日々の授業に加え、テーマ研究、大学・企業見学、体育祭等々の行事も無事に終え、生徒達も着実に成長してきたと思います。これも保護者の皆様のご理解とご協力によるものと感謝しています。

さて、生徒に向けても書きましたが、1年生も進級し、高校生活も残すところ2年になります。我々学年団も2年生に入り、高校生活の最大行事である「修学旅行」及び卒業後の進路実現へ向け舵を切っていく予定です。学年末試験が終わり、いよいよ春休みを迎えます。気を抜かず、この時期を有意義に過ごして欲しいと思っています。今後ともご協力お願いします。